

25PA-am007

セスキテルペンベンゾオキサゾール骨格を有するナキジノール A の合成研究

○武田 由貴¹, 加藤 武¹, 熱海 秀¹, 成田 紘一¹, 加藤 正¹ (東北医薬大)

【目的】ナキジノール A (**1**) は沖縄県今帰仁村のモクヨウカイメン科の海綿から単離・構造決定されたセスキテルペンであり、特徴的なベンゾオキサゾール環を有していることから構造的に興味深い化合物である。**1** の生物活性は報告されていないが、**1** の *exo*-オレフィン体であるナキジノール B はいくつかの腫瘍細胞株に対する細胞毒性が報告されている。そこで、**1** の合成経路の確立および不明である生物活性を明らかにすることを目的に全合成研究に着手した。

【方法・結果】デカリンセグメント (**2**) とアリアルセグメント (**3**) から合成したカップリング体から、数工程を経て *N*-Boc アミノキノン **4** を得た。次いで、キノン部を還元し、生じたジヒドロキノンをギ酸エステル誘導体として保護することによりジホルマー **5** を合成した。得られた **5** に対して TsOH を作用させることでベンゾオキサゾール環を構築し、**6** を合成することができた。現在、*O*-Me 基の脱保護によるナキジノール A (**1**) の合成について検討中である。

